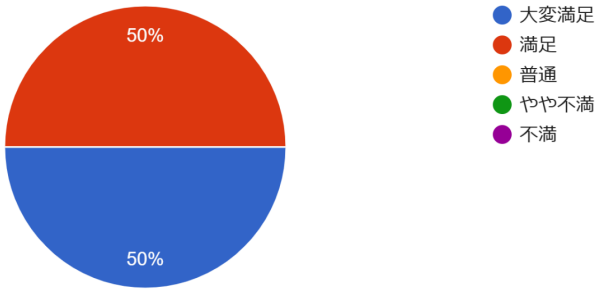
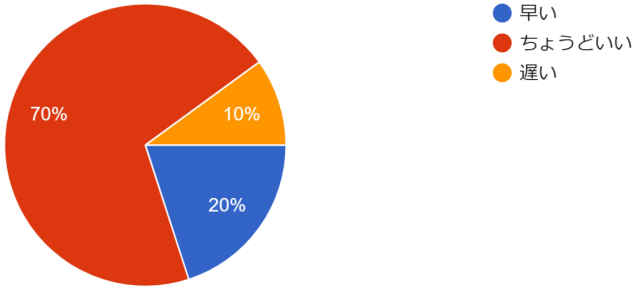
設問１　本日の講演会はいかがでしたか？（いずれか1つ）

10 件の回答



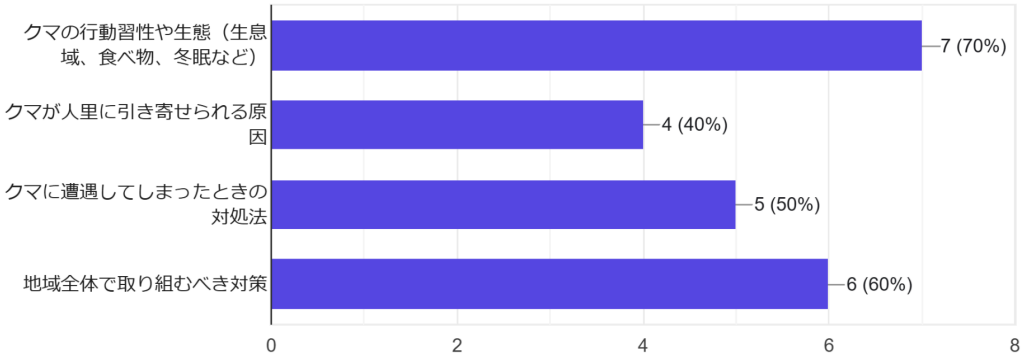
設問２　講演会の開催時期はどうでしたか？（いずれか1つ）

10 件の回答



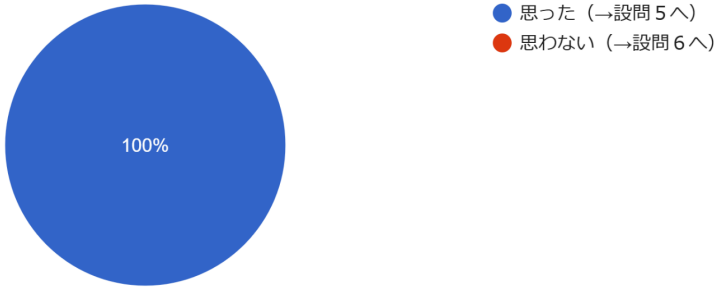
設問３　講演の中で、特に印象に残った内容は何ですか？（複数選択可）

10 件の回答



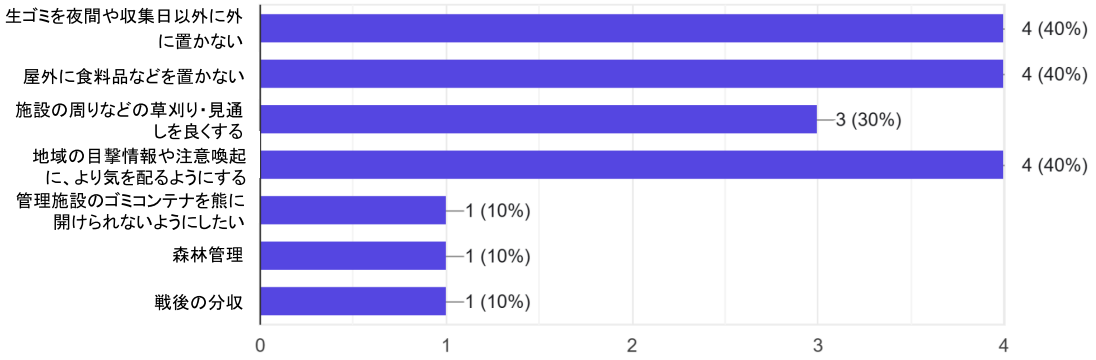
設問４　クマを人里に近づけないために、個人や施...組んでみようと思いましたか？（いずれか1つ）

10 件の回答



設問５　クマ対策として取り組んでみようと思った具体的な内容は何ですか？（複数選択可）

10 件の回答



設問６　本日の講演会全体へのご意見・ご感想、または講師へのメッセージがございましたらご自由にお書きください。

夏季の繁忙期前やGW前の時期に実施すれば、お客様にリアルタイムで伝えることができると思います。
戦後、分収林制度により、広葉樹林を伐採、 針葉樹林に植え替えた。 実のなる木、花の咲く木、紅葉する木が、なくなり、多くの動物🐱が、山を降りて来ています。 分収林制度は廃止撤廃、大きな痛手になりました。温泉地では、不向きである事は、明治期からの歴史をしたためた明治元年の塩原温泉郷にあります。 良い機会ですので、今からでも遅くないので、 広葉樹林転換が肝要です。 戦前の塩原温泉郷に戻し、森林管理を進める事が、中長期には、 必要かと思います。
対策について、住民の理解は、重要ですが、その対策がまだまだ不十分だと思います。熊との共生は、可能なのでしょうか。駆除と、共生は、両立するのでしょうか？まだまだ課題は、少なくないですね。これからの対策について期待しています。住民としても議論に大いに参加して行きたいです。またのこう言う機会をも待ってます。
温泉郷の森林は、観光景観,森林涵養、防災、生態系及び地域経済を支える重要な基盤である。一方、管理不十分な針葉樹人工林は、 花は咲かない、実はならない、紅葉はしない。 動物は、山を降りて来てしまっている。 市が主体となり、監理不全の人工林を対象とした広葉樹林化、よって熊をはじめ、動植物対策を一体的に進めることをお勧めします。 明治元年の塩原温泉郷(時事通信社) にも、温泉地には、分収林制度すなわち針葉樹林に植え替えることは、 ふさわしくない事、表されています。 参考まで。
大変参考になりました。現状の那須塩原は、東北ほどの被害や目撃にいたっていないが、人間の対策次第で同じようになってしまう可能性があることを再認識しました。 クマが食べ物に執着するからこそ、どれが誘引物になるのかを私たちがしっかり認知しないと、対策するべきだと言っていても意味がないと思いました。ジョージアが好きなクマがいた話は聞いたのですが、飲み終わったエナジードリンクも美味しいものになるのは驚きました。 とても面白いお話だったので、もっとお話を聞きたいと思いました。 質問なのですが、以前、クマ研究をしている方から赤い服は着るのを避けた方がいい、アクティビティ事業者の方にオレンジの服を着ている人がクマに襲われた、とそれぞれ聞いたのですが、赤っぽい服に反応するのでしょうか？猟友会に怪我を負わされたクマがオレンジ色に反応するなどの報告例はあるのでしょうか。 狩猟免許を持とうか迷っているのですが、栃木県(もしくは日光か那須塩原)で狩猟免許を持ち、実際に活動している20代・30代の人数もしくは割合はどれくらいか分かりますでしょうか。体感でも大丈夫です。また、銃を持って、どれくらいで1人の猟師として、自信を持って活動できるようになりましたか？

＜質問の回答＞

（講師回答）クマが赤やオレンジの色に反応してより襲いやすいという話は確認できたことはございません。また、人身事故の場合に、服の色が検討されたことはないかと思います。むしろ、怪我を負ったクマは、自分の身を守るために襲いかかるか逃げるかで、その点において色との関係はないかと思います。 　猟師としての活動について、自信を持って活動できるようなるには、単に期間というより、①非狩猟期も含む日頃の猟場の観察、②射撃場での射撃練習、③実戦経験(ベテランの方に教わることを含む)の3つが重要と考えます。日々の生活の中での狩猟に割く割合が高いほど、上達も早いと思います。 　なお、私はまだ自信を持てているわけではありませんのでご参考までに…。

（市回答）20代・30代の割合ですが、那須塩原市内の猟友会員で構成される那須塩原市鳥獣被害対策実施隊における20代・30代の割合は、令和8年度で約9.3%となっております。栃木県や日光市における割合は把握しておりませんので、栃木県猟友会等にお問合せいただければと思います。
　なお、那須塩原市では、狩猟免許等取得費用の助成を行っておりますので、ぜひご検討いただければと思います。